

第1回議会報告会開催!

議会基本条例に基づき町民の皆さまにお約束していました議会報告会を、7月30日(土)、31日(日)に町内4コミュニティセンターで開催し、132名の方に参加していただきました。

14名 of 全議員を2班に分け、5月臨時会、6月定例会・臨時会における議案などの審議内容や結果を報告しました。どの会場でも、学童保育やはりま病院との和解の件に参加者の関心が高く、活発な質疑応答が繰り返されました。採決の結果だけでなく、そこへ至った経緯なども報告し、参加者の皆さんからは、多くの貴重なご意見がありました。何点かあげさせていただくと、「高齢者問題をもっと積極的にやってほしい」「青少年育成問題をもっと積極的にやってほしい」。また、議会の土日開催や議員の資質の向上などのご指摘もありました。

初めての開催でしたが、反省点も含め今後より良い報告会にしていきたいと考えています。報告会を継続して開催してほしいと多くの声をいただきました。今後、定例会ごとの開催を予定していますので、よりたくさんの方の参加をお願いいたします。

会場ごとの詳しい内容は、播磨町議会のホームページに報告書として掲載しています。

(http://www.town.harima.lg.jp/gikai/gikai_houkoku.html)



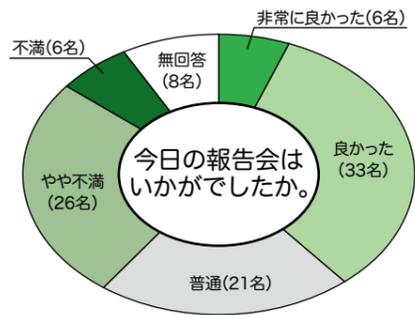
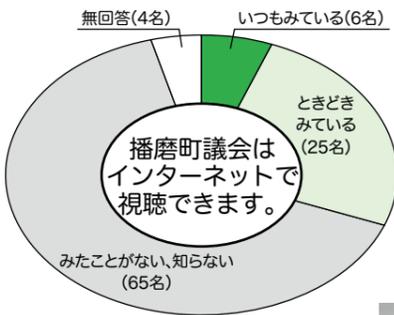
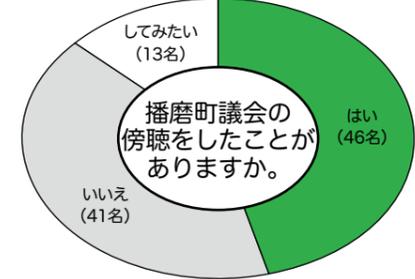
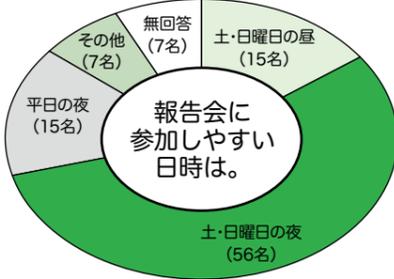
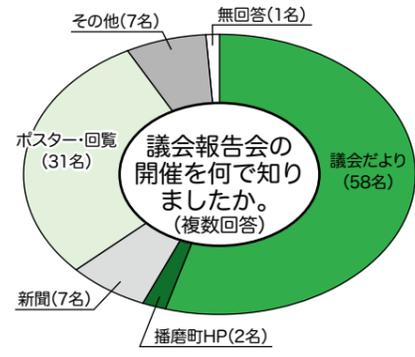
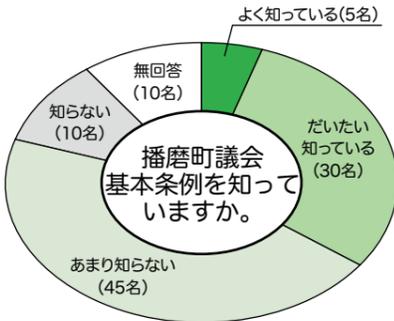
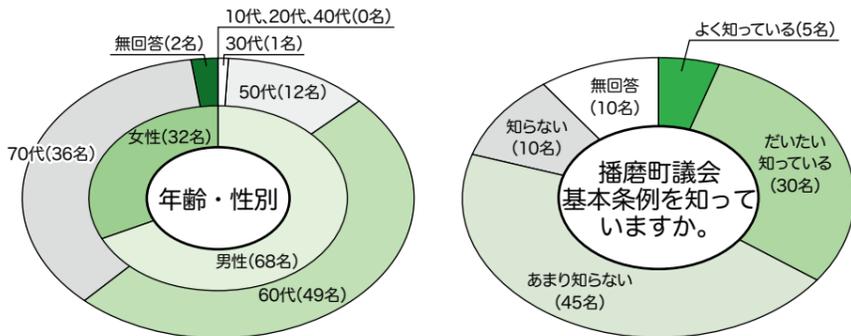
▼東部コミセン

▲南部コミセン

- ### 報告会でのQ&A
- ◎ 学童保育の公営公設化に至った理由は。
 - ▲ 財政上の問題や疾病時の対応、災害や事故による責任の不明確さ、学童数の増減による不安定な経営などの問題があり、公設化への強い要望があったため。
 - ◎ 仙酔会(はりま病院)との和解の経緯は。
 - ▲ 建設予定地からでた大量の黒色土やコンクリートから(産業廃棄物)の処分費用を仙酔会から請求されたが、これに町が応じなかったため瑕疵担保責任を問われる訴訟に至りました。その後、町は裁判所からの和解案を受け入れるため、議会に承認を求めました。
 - ◎ 政務調査費は、領収書を添付して報告すべきではないか。
 - ◎ また、現在の額で十分な調査ができるのか。成果報告もするべきでは。
 - ▲ 播磨町議会では、政務調査費の交付に関する規則に基づき、1円単位から領収書を添付して報告しており、情報公開の視点から調査報告書は開示しています。
 - ◎ 播磨町はどんな町なのか。また、播磨町をどんな町にしたいのか。
 - ▲ 播磨町第4次総合計画が今年度よりスタートしました。ここに、播磨町がめざす将来像や基本理念、基本目標などが示されています。

議会報告会アンケート結果

今後の参考とするため、参加者の皆さんにアンケートをお願いしました。参加者132名(土曜Ⅱ東部21名・西部29名、日曜Ⅱ南部35名・野添47名)のうち、お答えいただいたのは100名です。アンケートの集計結果から、若年層にも興味を持ってもらえるようなアプローチの仕方が必要で、インターネットの活用も低さもこれが要因と思われる。開催日時や運営形式などの改善すべき点は、今後の検討課題です。



▼西部コミセン

▲野添コミセン

アンケートから
「意見・要望」
いくつか抜粋して原文のまま
掲載させていただきます。

- ◆ 「議会だより」だけでは分かりにくいですが、本日の会は詳しいこともわかって大変に良かったです。
 - ◆ 一般住民にも分かりやすい言葉遣いをしてほしい。参加者すべてが分かるように、かみくだいた話をしてほしい。前議員が今の議会・議員に文句を言う場ではないと思う。
 - ◆ 初回としては大変良かったのではないかと。意見の出かたにも多様性があり、今後、会が継続されたならば、具体的な町政のプラスになっていくのかもしれない。
 - ◆ 議員の勉強不足が伺えた。第一回目としてはこんなものか、続けて開催し質を高めよう。
 - ◆ 議会だよりの内容をはじめ自分の勉強不足、知識不足を痛感しましたが、今後もっと町議会について関心を深め、学習していきたいと思いました。
- アンケートにご協力いただき、
ありがとうございました。